

紫波町中学校部活動「休日の地域展開」に関する基本方針(案)【概要版】

紫波町教育委員会
学校教育課・生涯学習課

1 目的

- ◇ すべての中学生が、スポーツや文化・芸術活動に継続して親しめる環境を整える
- ◇ 学校と地域が連携し、協調性・責任感・自己肯定感など、生きる力を育む
- ◇ 国・県の方針を踏まえつつ、町の実情に応じた「休日の地域展開」の進め方を示す

2 国・県の動向

国：R5～7年度を「改革推進期間」、R8～13年度を「改革実行期間」と位置付け
 国：「地域移行」から、学校と地域がともに支える「地域展開」という考え方へ
 県：地域クラブや合同活動の推進など、市町村の実情に応じた展開を求めている

3 紫波町の中学校部活動を取り巻く現状 (R6 現在)

≪ 生徒数の推移 ≫ ※R8以降は見込み

	一中	二中	三中	合計
R6	646	94	116	856
R7	637	92	127	856
R8	674	80	112	866
R9	673	81	120	874
R10	686	72	105	863
R11	649	73	102	824
R12	651	65	82	798
R13	661	74	89	824

≪ 学校部活動の設置・加入状況 ≫

一中：運動部 17 団体 文化部 6 団体
 二中：運動部 5 団体 文化部 1 団体
 三中：運動部 7 団体 文化部 1 団体
 運動部在籍：64.9% 文化部在籍：27.0%

≪ 部活動の課題 ≫

生徒数減により種目が縮小し、ニーズへの対応が困難となることが予測される

地域展開に関するアンケート調査の結果 (R7.2 調査)

小中学生	すでに多くの児童生徒が、学校外のスポーツ・文化活動に参加
	小：スポーツ系 57%・文科系 24% 中：スポーツ系 32%・文科系 22%
	地域クラブ活動への参加意向について、小中ともに約3割が「参加したい」
	地域クラブで、小は「楽しく短時間」、中は「競技力向上」を重視する傾向
保護者	地域展開について「賛成・どちらかといえば賛成」約半数、「わからない」約4割
	期待すること：希望種目の継続、専門的な指導、多様な種目の体験 など
	不安なこと：送迎、費用、指導者確保、受け皿団体の有無 など
	参加費として妥当な金額 1,000 円以内が 29%、3,000 円以内が 49%

4 地域展開の基本的な考え方

- ◇ 学校部活動の教育的価値を生かしながら、地域の人材・団体・施設を活用し、主体的・自発的な「地域で支えるスポーツ・文化活動」へと転換する。
- ◇ 町内どの中学生も、学校の枠を超えて希望する活動に参加できる仕組みを目指す。
- ◇ 教員の働き方改革に配慮し、検証を重ねながら持続可能な運営体制を整える。

R 6～R 7	協議会設置、基本方針策定、周知
R 8～R 9	モデルクラブ実施・検証、制度設計
R10	休日の学校部活動を順次廃止 → 地域クラブ活動へ移行
R11～R13	休日は原則すべて地域クラブ活動 平日の地域展開についても体制が整った種目から検討・開始

5 地域展開の仕組み (ポイント)

- ◇ 対象：町内3中学校の休日の学校部活動
- ◇ 運営主体：①保護者会や地域有志による地域クラブ
②既存の民間スポーツ・文化団体等
- ◇ 参加：町内3中学校の生徒は、所属校に関係なく希望する地域クラブに参加可能
- ◇ 費用：原則参加費（受益者負担）。経済的事情への配慮や公的補助の検討も行う
- ◇ 会場：体育施設、公民館、文化施設、学校施設などを活用

6 モデルクラブの概要 (イメージ)

- ◇ 目的：地域展開の先行的モデルとして、運営方法・課題・改善点を検証し、今後の本格実施につなげる。
- ◇ 対象：町内3中学校に在籍する生徒
- ◇ 活動：休日（土曜または日曜）に実施。1回あたり3時間以内。
- ◇ 費用負担：参加費・移動費・備品費・指導者報酬・傷害保険料などは、原則として参加者の自己負担
- ◇ 運営・連携：地域クラブ（運営団体）が主体となって運営し、教育委員会は要綱整備、募集案内の配布調整、安全管理・研修等の面で支援する。

※本概要版は、「紫波町 中学校部活動『休日の地域展開』に関する基本方針(案)」の内容を分かりやすく整理したものです。詳細は本編をご覧ください。

